

## 2020年度事業計画

### 【方針】

広島県内の将来有望な事業アイデアを有する起業家等を発掘・育成し、地域経済の活性化に貢献する。

### 【事業内容】

#### 1. 事業アイデアを有する起業家等に対する助成金の交付

新規性・独創性のある技術やビジネスプラン等を持つ広島県内の将来有望な法人または個人に対して助成を行う。

区分	概要
助成対象	<p>新規性・独創性のある技術やビジネスプラン等を有している法人または個人で、2020年9月30日時点において以下の要件を全て満たす先</p> <p>①法人の場合は、広島県内に主たる事業所（事務所）を置いていること。個人の場合は、広島県内在住であること</p> <p>②前年度売上が5億円以下であること（※）</p> <p>③申請事業が非営利活動を目的としたものでないこと</p> <p>（※）申請者が子会社（会社法上）の場合、親会社も上記②の要件に該当すること</p> <p>なお、過去に受賞した先からの同一または類似テーマでの応募は不可とする。</p>
	<p>以下の要件を全て満たす個人またはグループ</p> <p>①広島県内に在住または在学している学生（大学院生・大学生・短期大学生・高等専門学校生・専門学校生）であること</p> <p>②新規性・独創性または地域貢献性のあるビジネスアイデアや事業プランを有すること</p>
助成内容	<p>○ひろしまベンチャー大賞（法人・個人）500万円</p> <p>○ひろしまベンチャー奨励賞（法人）100万円～300万円</p> <p>○ひろしまベンチャー育成賞（個人）50万円～200万円</p> <p>○ひろしまベンチャーエコ特別賞（法人・個人）100万円</p>
	<p>○ひろしまヤングベンチャー大賞 30万円</p> <p>○ひろしまヤングベンチャー賞 5万円～10万円</p>
助成条件	<p>助成金受領後は起業及び事業化を目指して中小・ベンチャー企業支援機関（団体）の継続的な指導を受けること</p> <p>但し、学生卒の受賞者は大学等の教育機関の指導も可とする</p>
募集回数	年1回（一般卒・学生卒同時募集）
募集方法	公募方式
選考方法	審査委員会において書類審査及び面接審査により選考し、（学生卒は、一般卒の審査とは区別して書類審査及び面接審査により選考）理事会で最終決定する

## 2. 起業家と支援者との交流事業

- (1) 助成先の事業化支援並びに県内の創業機運向上を目的とした、「成果報告会」・「交流会」の実施（公益財団法人ひろしま産業振興機構から、一部事業費を負担頂き開催するもの）。
- (2) 他団体が行う商談会や交流会等への参加機会の提供による事業化支援の実施。

## 3. 起業化・事業化を促進するための普及・支援事業

- (1) 広島県、国立大学法人広島大学、株式会社広島銀行、公益財団法人ひろしま産業振興機構との相互協力協定締結により、人材・資金・情報等を集積し、広島県内において新たな産業・事業者が創出される好循環（イノベーション・エコシステム）の構築を図る。
  - ①大学シーズを対象とした事業化プログラムに参画する。
  - ②中小・ベンチャー企業支援機関等との連携による起業化・事業化のサポートを行う。

## 4. その他必要な事業

- (1) 協賛企業等の拡充活動
- (2) 助成事業等のPR活動

### 【2020年度事業スケジュール】

時期	助成金交付事業		交流事業・その他
	募集・審査・贈呈式	評議員会・理事会	
'20年4月			企業・団体への協賛依頼（通年） 大学シーズ事業化プログラム（通年）
5月		第1回理事会 （2019年度事業報告・収支決算等） 定時評議員会 （2019年度事業報告・収支決算等）	
6月	第27回助成先募集 （一般枠・学生枠）		
7月			
8月			第17回成果報告会・交流会（注） （基調講演も実施）
9月			
10月	助成先選考 （一次書類審査）		
11月	助成先選考 （二次面接審査）	第2回理事会 （助成先の選定等）	
12月	第27回助成金贈呈式		
'21年1月			
2月			
3月		第3回理事会 （2021年度事業計画・収支予算等）	支援機関と第27回助成先との交流会

（注）（公財）ひろしま産業振興機構から、一部事業費を負担頂き開催するもの。